

キリッと キラッと!

発行責任者
西中学校PTA会長 高橋 敦志

学力向上座談会 「志望校の選び方と今後の学習」

学力向上委員会では、10月22日に「志望校の選び方と今後の学習」をテーマに、進路指導担当の小谷智恵子主幹教諭に、志望校の選び方と家庭学習についてお話をうかがいました。3年生の保護者に向けられた座談会でしたが、2年生や1年生の保護者の皆様も参加いただき熱心に聞き入っておられました。

また、すでに高校に通うお子さんがいる保護者の皆様にも来ていただくことができ、保護者の目線での貴重なお話をうかがうことができました。当日の内容をまとめてみましたので、今後の志望校決定、家庭での学習計画の参考にしてください。

- ① オープンスクールに積極的に足を運ぼう！
希望する学校・気になる学校に足を運び、通学状況や学校の雰囲気などを直接感じることが大切です。できれば複数の学校に、少なくとも受検・受験する学校には必ず足を運びましょう。
- ② どんな学校に行きたいのか？
たとえば難関大学の進学を目指す学校、部活動に力を入れている学校、就職に有利な学校など…。「この学校に行きたい!」という気持ちは、受験勉強のモチベーションとなります。また、努力して合格できた時に喜びとなり、入学してから「ここで頑張る!」という、学校生活や学習への意欲にもつながります。3年間通い続けられること、卒業後の見通しを持てること(進学・就職)を含めて考えてみましょう。
- ③ 併願校も含めて、どんな選択があるのか？
◆公立or私立 ◆全日制or定時制(多部制)or通信制 ◆共学or男子校・女子校
◆学年制or単位制 ◆普通科or総合学科or専門学科 ◆宗教を教育の柱とする学校 等
学校毎に、さまざまな制度や特色の違いがあります。家庭の状況やお子さんの適性にあった選択をするために、学校が配布しているパンフレットやインターネットのホームページ、オープンスクール等を利用して情報収集をしましょう。

*** 公立高校のおもな特徴 ***

長所 ◆幅広い選択肢 ◆部活動と勉強のバランス
◆知り合いが多数(市内)
◆経済的(年間30万円前後)

短所 ◆難関大学希望の場合、塾通いが必要
◆学力幅が大きく、指導が画一的
◆知り合いが多いため中学生気分が抜けにくい

*** 私立高校のおもな特徴 ***

長所 ◆進路に合ったカリキュラムがある
◆学力幅が小さく指導が丁寧
◆一定の学力で授業料等の免除あり
◆高校生活で再スタートが可能

短所 ◆どんな特色があるのか見極めが必要
◆経済的な負担が大きい
・減免制度あり ・塾代不要?

- ④ 自分に合った学校って？
＜部活動や進学実績・カリキュラム＞ 正確な情報を得ましょう。行きたいと思っている学校の学費や交通費などはきちんと調べて、特別な家庭の事情は事前に先生にお知らせしておく、奨学金や特待生の情報も教えていただけます。また、通学時間も大切な要素の一つです。電車やバス、乗り継ぎの状況も確認しておきましょう。
＜受験・受検の方法＞ 公立高校の開門率は64%です。内申点(5教科・4教科の評価)、実力テストなど自分の実力を把握することが大切です。推薦入試についてはチャンスが2回あるとは考えないでください。推薦入試と一般入試では勉強することがちがうので、本人の性格や得意科目を考えて決めましょう。自分にあった学校を見つけるには、高校見学に行き、直接見て聞いて、肌で感じるのが大切です。

～ 今後の学習について ～

- ① 各教科の学習は、日々の授業を大切に受けましょう。習ったことは必ず復習するようにしましょう。提出物は絶対に出す。特に実技科目は必須です。テストに向けて、できる限りのことはしておきましょう。
- ② 受験勉強としては、希望校確定後はまず、傾向と対策のため希望校の過去問題に取り組みましょう。公立一般入試問題はかなり難しいですが、6割を目標に頑張りましょう。同時に3年間の復習も計画的に実行しましょう。
- ③ 面接や小論文の練習も、12月から1月にかけて、学活や総合の時間に取り組みます。受験当日に面接の緊張感に耐えられず、涙腺がゆるむ子どももいるそうです。練習を重ねることで極度に緊張することなく、本番を迎えましょう。
- ④ 当たり前のことを当たり前に行えるようにしましょう。時間を守る、挨拶をする、身だしなみを整える…。いつでもどこでも当たり前に行えるようにしましょう。

座談会に参加された方の感想

- ・ とても参考になりました。子どもにも聞かせたかったです。(3年保護者)
- ・ 進路説明会とは違った説明会でありがたかったです。受験まであと何日カレンダー、私も作りたと思います。(3年保護者)
- ・ 座談会形式のお話は、とても聞きやすく良かったです。今頃受験に対しての不安でドキドキしてきました。(3年保護者)
- ・ 知らなかったことも知ることができ、私立専願もありかな?と思いました。大学進学も考えて。(2年保護者)
- ・ 来年から始まる学区拡大についてもこういった形で開催してほしい。(1年保護者)
- ・ 学年制でしてもらいたい。(1年保護者)
- ・ 実際に通われている方のお話は、本当に身近で参考になりました。(3年保護者)

終わりに・・・

小谷先生をはじめ先生方は、子どもたちのより良い進路決定に向けて、精一杯の支援をしてくださっています。私たち保護者には何ができるのか?それは落ち着いて学習に取り組める家庭環境を作ること、家族関係を築くことだと思います。

初めての人生の選択であり、岐路に立たされている子どもたちです。不安や悩みもたくさん抱えていると思います。自分で決めるという大切な経験でもあります。一人ではない、家族がいる、先生たちがいる、仲間がいる、という気持ちを持てるように、精一杯の応援をしたいと思います。